

急変シリーズ：ALS(キャリアラダーI・II編)



考える看護師の育成シリーズ：第3弾「呼吸・循環・意識の視点で常に考える」

急変の判断ってどうするの？

「気道」「呼吸」「循環」「意識」の視点で頭を整理しながら観察しよう！！



159*で実際にあつた事例をもとに、急変対応に必要な知識・技術を習得する

それぞれの部署での経験を持ち合って、**具体的な対応と準備**をみんなで考える！！

159* (院内救急対応システム)

内線番号の159(一刻も早く対応する)で患者の緊急時に、高度救命救急センタースタッフを招集できる



挿管チューブが正しい位置にあるか？
肺音聞いて確認！

実践！気管挿管の準備と介助



医師の役割も体験して、看護師に適切なタイムリンドを指示！



演習！心停止アルゴリズム



重症不整脈について

どんな心電図が緊急性が高いか実際の波形から学ぼう！

ALSとは2次救命処置であり、BLS(1次救命処置)での心臓マッサージや呼吸補助換気を確実に実施し、次の段階として医師と協働して行っていく対応です。そのため医師の指示や行動をしっかりと理解し、看護が実践できるように学びました。さらに急変前の異常のサインにも気づけるように、今までの経験と研修で学んだ知識・技術を磨いて行きましょう！！